

スペシャルオリンピックス日本・兵庫 広報委員会 2021年度 第2回 記録



日 時 2021年9月24日(金) 18:30~19:30
場 所 リモート会議 (Zoom)
出席者 小林、喜多、橋本、三木、柳井、佐藤、黒岩、片西
八代事務局長 (オブザーバー)

敬称略

議 事 録

I. 開会

II. 協議事項

- ① アスリートの現況
- ② ニュースレター (20周年記念号) について

委員長挨拶

前回会議より2ヵ月後の8月に対面での会議を予定していたが、緊急事態宣言に入ってしまったため、今回もZoom開催となりました。今月末の解除に伴いコロナが終息に向かうよう願っています。

市域の現状

尼崎P：再開は、10/2の運営委員会で相談する。10月に緊急事態宣言が解除され、兵庫のゴーサインが出たら、すぐに再開ができるよう各競技とも準備は整っている。

神戸P：各競技とも活動は休止している。毎週日曜日にコーチの方がオンラインで体操を行っているが、やはり集まりはよくないようだ。

西宮P：プログラムの練習は中止している。西宮Pは、昨年同様オンラインマラソンに参加する。アスリートの近況報告的な写真を集めた「お家時間の過ごし方」を中心とした西宮Pニュースレターを発行した。

姫路P：再開は緊急事態宣言の様子を見て相談する。アスリートの様子について、詳細は分からないが変わりはないようだ。

芦屋P：オンラインマラソンに参加しようと思えば手配を進めている。何もしないのは寂しいが緊急事態宣言が解除されない限り活動再開は難しい。

ニュースレター20周年記念号について

小林委員長より

喜多さんから黎明期の資料を借りているが、資料を見ているだけでも喜多さんをはじめ皆さんが非常な努力をされているのが伝わってくる。このように対面での相談もままならない中で話を進めるのは難しい。もっと時間をかけて取り組みたいので年内の発行は見合わせたい。とりあえずは、アスリートの状況を中心としたA4またはA3二つ折りサイズのを年度内に発行してはどうかとの提案。

・ <20周年記念号>

内容を充実させるためにも作成は次年度に持ち越す（予算の申請も行う）

・ <アスリートの近況報告号（No15 だと思われる）>

10月中旬〆切で各市域に依頼（追って、委員長よりお願い文送付）

写真とコメント（300字程度）

※ 用紙の大きさは集まった記事により考える。

掲載コメントについて

尼崎 P ニュースレターは毎年7月に発行（2021年47号）している。

今年のメインピックスはスタッフの交代（70歳代から40歳代に）

今年度は活動がないため適当な写真がない。投稿は役員交代の記事にしたいと思う。委員長、事務長、アスリート委員長の3名ではどうか。スペース等の関係で人数は追って相談。

次回より

戸井さんが尼崎広報委員長として参加予定

北神戸・三田 P オリンピックの聖火ランナーになったアスリートがいるので推したいと思う。

他に、記事内容、提出期限等についての質問あり。

兵庫ニュースレター「すまいるロゴ」参考のために以前のニュースレターを送信（片西）